

社会科学学習指導案

生徒 第3学年C組 男子21名 女子20名 計41名
指導者 教諭 深見 亘

I 単元 『市場の働きと経済』

II 単元について

この単元では、生徒にとって身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解させるとともに、価格の働きに着目させて市場経済の基本的な考え方について理解させる。それに伴って生産から流通への流れや金融についても理解させたい。また、具体的な事例を取り上げ、個人や企業の経済活動が様々な条件の中での選択を通じて行われるという点に着目させるとともに、市場における価格の決め方や資源の配分について理解させていきたい。そうした内容を理解していく中で、勤労の意義や企業の社会的に責任についても考えさせ、さらに学習の中で身につけた経済的な見方や考え方を活用し、農産物の輸入自由化といった今日の問題について考えさせることを通して、生徒の思考力・判断力・表現力を育てていきたい。

III 単元の指導目標

- 様々な経済活動に着目し、仕組みや理由を自ら追究しようとする態度を育てる。
【社会的事象への関心・意欲・態度】
- 市場経済の基本的な考え方を活用して経済活動に関する問題について考察させ、その過程や結果を適切に表現させる。
【社会的な思考・判断・表現】
- 資料の中から、経済活動・市場経済・金融などについての学習に役立つ情報を読み取り、要点をまとめさせる。
【資料活用の技能】
- 経済活動の意義や市場経済の基本的な考え方、生産や金融の仕組みや働き、企業の役割や社会的責任について理解させる。
【社会的事象についての知識・理解】

IV 本単元における言語活動

理解した学習内容を文章で表したり、身につけた概念を活用したりする。 【解釈・説明】
考察した内容について、ペアやグループ、学級全体で話し合う。 【討論・協同】

V 単元の評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
・様々な経済活動や、それに関する諸問題に着目し、仕組みや理由について考えようとしている。	・市場経済の基本的な考え方を活用して経済活動に関する問題について多面的・多角的に考察し、自分の考えを的確に表現している。	・経済活動に関わる様々な資料から必要な語句などを読み取ったり、また、需給のグラフを用いて、その概念を説明したりしている。	・家計の消費支出の内容、市場経済における需給と価格の関係、企業の生産の仕組みや金融の働きについて理解している。

VI 生徒の実態

授業の中で課題を追究していく意欲はあり、資料からの読み取りや単元のまとめ、調べ学習やペアやグループでの活動には積極的に取り組む。しかし、課題の難易度が上がり個人で追究する場面では、粘り強く課題に取り組むことができない生徒が半数近くになることがあった。この単元では経済的な内容を扱うが、経済の仕組みや働き、経済的な見方や考え方といったことを学ぶのは本単元が初めてであり、生徒は歴史的分野や地理的分野のように以前の学習方法を生かしく、課題について考察することが困難と予測される。

そこで、抽象的な経済の概念を学習する際に身近な例を取り入れたり、経済的な見方や考え方の習得の方法を工夫したりする中で、教師からのアドバイスも適切におこない、一人一人が粘り強く課題に取り組み、満足できる状況まで到達できるようにしていきたい。

Ⅶ 指導と評価の計画(14時間扱い……本時13/14)

月	単元	題材	指導目標	主な学習活動	時数	【言語活動系統表】との関連	
	私 た ち と 経 済 (20)	市場の働きと経済(14)	<p>①様々な経済活動に着目し、仕組みや理由を自ら追究しようとする態度を育てる。</p> <p>②経済活動の意義や市場経済の基本的な考え方、生産や金融の仕組みや働き、企業の役割や社会的責任について理解させる。</p> <p>③市場経済の基本的な考え方を活用して経済活動に関する問題について考察させ、その過程や結果を適切に表現させる。</p> <p>④資料の中から、経済活動・市場経済・金融などについての学習に役立つ情報を読み取り、要点をまとめさせる。</p>	<p>支出シミュレーションを行い家計と経済全体のつながりを確認する。</p> <p>企業の生産活動の仕組みの理解を通して、資源の希少性などの経済的な考え方を身に付ける。</p> <p>需要と供給と価格の関係についてグラフから読み取ったり、説明したりする。</p> <p>様々な資料から労働問題の起こる原因を考察する。</p> <p>農産物の輸入自由化に関わって家計・企業・政府の立場から考察する。</p>	14 本時 (13/ 14)	<p><収集・整理></p> <p><解釈・説明></p>	
		国民の生活と政府の役割(6)	<p>⑤今日の経済活動に関する問題に着目し、自ら考えようとする態度を育てる。</p> <p>⑥社会資本の役割、環境保全など民間の経済活動の及ばない政府の役割について理解させる。</p> <p>⑦財政の費目や租税について理解させ、さらに、過去の資料と比較させ現在の特色を掴ませる。</p> <p>⑧財政の変化や推移について社会背景を踏まえて多角的に考察させる。</p>	<p>国家財政の内容を理解し政府の役割に気付く。</p> <p>財政のグラフを見て、費目や租税について調べる。</p> <p>国家財政について過去との比較を行い、変化の理由を考察する。</p> <p>現在の日本の経済に関する問題を1つ選びまとめる。</p>	6	<p><解釈・説明></p> <p><討論・協同></p>	
		導入 個人の消費生活と消費者の保護					
		生産の仕組みと企業の役割や責任					
		市場経済と価格					
		金融の仕組みと働き					
		職業の意義と役割					
		国際貿易について					
		財政の役割					
		社会資本の整備					
	社会保障の充実						
	公害の防止と環境保全						
	まとめ						

観点	指導目標	評価方法	Aのキーワード・具体例	評価規準B	Cへの手立て
関・意・態	① ⑤	ノート ワークシート 活動観察	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対し、<u>試行錯誤して粘り強く取り組もう</u>としている。 ・より難しい課題や複数の課題に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①課題に取り組む際により良い答えに近づけようとしている。 ⑤経済に関する現代の問題について、内容をより深く調べている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・例を挙げたり、資料を指し示したり、直接質問をするなどして想起を促す。 ・生徒により身近な問題や取り組みやすい問題を示唆する。
思・判・表	③ ⑧	ワークシート 活動観察	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の指示がなくても<u>多面的かつ多角的に</u>考察しようとしている。 ・<u>今後の推移について深く追究</u>しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ③身に付けた経済的な考え方を課題に応じて適切に生かして考察している。 ⑧景気の減退と税収の減少、少子高齢化と社会保障費の増大などに触れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どの考え方が関わっているかワークシート点検や机間指導でアドバイスを与える。 ・関連している過去の学習内容を想起させる。
技	④ ⑦	ワークシート	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの語句を自ら調べたり、<u>現実にあるできごとをはてはめたり</u>しようとしている。 ・<u>歳入と歳出の内容を組み合わせて</u>、文章で説明しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ④図示された資料から必要な語句や流れを読み取ったり、また、需給のグラフを用いて、その概念を説明したりしている。 ⑦国家財政の現在の特色を説明し、また、過去からの変化を読み取って説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで説明し合う活動を行う。 ・大きく数値などが異なる部分に着目させる。
知・理	② ⑥	テスト（小テスト）	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの個別の内容についてより詳しく<u>理解</u>している。 	<ul style="list-style-type: none"> ②家計の消費支出の内容、市場経済における需給と価格の関係、企業の生産の仕組みや金融の働きについて理解している。 ⑥経済活動における政府の役割、政府の財政や租税の内容について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の事象の内容について教科書、ノート、用語集で調べ、ノートにまとめさせる。

Ⅷ 本時案

1 題材 「国際貿易について」

2 学習目標

- ・市場経済の基本的な考え方を活用して経済活動に関する問題について考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。 **【社会的な思考・判断・表現】**

3 学習の展開

	○学習活動	○教師のかかわりと◆留意点	○評価規準と（評価方法）
前時	○本時の学習課題を確認する。	○単元の導入や前時の学習（国際貿易）を想起させる。	
	外国産の安い農産物の輸入自由化は、日本全体にとって利益となるだろうか。		
	○提示された課題について「家計」と「企業」の立場から、利益となるかどうかを考えて付箋に書く。	○理由も含めて書くように確認する。	
本時	○教師のアドバイスを参考に、自分の書いた内容を振り返る。	○経済的な考え方で判断しているか、語句の使い方が正しいかを確認させる。	
	○「政府の立場から、日本全体にとって利益になると考えられるか。」について、付箋に書いた内容をもとに大まかに考える。	○ワークシートを回収して評価し、3つの立場から考えることができているかを判断し、修正点を示唆する。	○身に付けた経済的な考え方を課題に応じて適切に生かして考察している。【思考・判断・表現】(ワークシート)
本時	○前時の付箋に書いた内容を修正する。	○教師のコメントを参考にするように告げる。	
	○前時に考えた内容を再考し、その考えが「日本全体にとって」と言える根拠も併せて書く。	○「家計」と「企業」の立場から書いた付箋を組み合わせさせて考えさせる。 また、残った付箋についてなぜ使わなかったのか説明を書く。	○身に付けた経済的な考え方を課題に応じて適切に生かして考察している。【思考・判断・表現】(ワークシート)
	○自分の考えを発表する。	○数名を指名する。	
例) 経済的な面から考えると、家計にとってはより安い製品を購入でき、企業も工業製品を輸出しやすい。多数の人に経済的利益があるので日本全体にとって利益となる。			
本時	○ペアの生徒の考えを「公正」という視点から考え直した場合、どう評価できるかを考える。	○経済的な面からのみ考えると不利益を受ける人が発生することに気付かせる。	
	○考えた点を発表する。	○数名を指名する。	
	○経済面だけではなく、様々な面や立場から考えていく必要があることに気付く。	○次時は、不利益を解消するために政府はどのような手立てをとるべきかを考えることを告げる。	